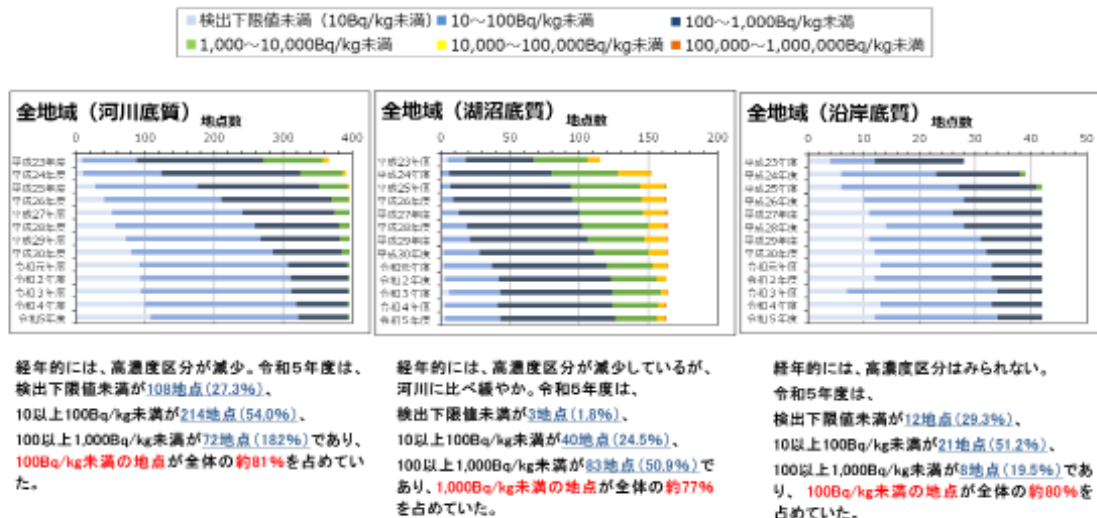


モニタリングを継続的にしている地点のデータを用いて、以下の方法により地点別の濃度分布の推移を確認した。各地点における放射性セシウム(Cs-134とCs-137の合計値)の全調査結果を用いて、地点ごとに平均値(算術平均、検出下限値未満はゼロで算出。)を求め、全ての地点平均値を濃度別に6区分に整理した。



令和6年度第2回水環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会（環境省）資料
(https://www.env.go.jp/air/rmcm/conf_cm2/r0611.html) より作成

2023年度も前年に引き続き、河川、湖沼・水源地、沿岸域の底質の放射性セシウム濃度の調査が行われました。

上記は、底質の放射性セシウム濃度の調査結果です。

本資料への収録日：2025年3月31日